

指定管理者導入施設（三島市民文化会館）の管理運営状況に関する外部評価委員会 会議録

○日時

令和4年3月28日（木）午前11時～午前11時55分

○場所

三島市民文化会館2階 特別会議室

○出席者

（委員）宮川幸司委員長、岩下晶子委員、靱山好実委員、土山如之委員、芹澤博一委員、
山形眞珠代委員、遠藤悦子委員、石野寿雄委員

（事務局ほか）

三島市：西川産業文化部長、鈴木文化振興課長、木村文化振興課主幹、中島主査、
杉山会計年度任用職員

指定管理者：望月館長、松下副館長、渡辺副館長

○会議次第

- 1 部長挨拶
- 2 委員長の選任
- 3 議事

- (1) 実地調査及び指定管理者へのヒアリング
- (2) モニタリング結果（指定管理者、市、専門家による審査）の報告
- (3) 利用者満足度調査結果及び改善策の報告
- (4) 三島市民文化会館管理運営に関する評価

4 その他

○配布資料

- 資料1 モニタリング結果（指定管理者・市）
資料2 専門家による労働条件及び財務状況の審査結果
資料3 利用満足度調査結果（指定管理者）

※当日配布資料

- 資料4 外部評価委員会評価基準
令和3年度外部評価委員会評価 採点表

○会議内容

- 1 部長挨拶
- 2 委員長の選任

三島市民文化会館運営委員会を外部評価委員会に代えるため、宮川三島市民文化会館
運営委員会委員長を外部評価委員会委員長に選任することについて、全員一致により承

認された。

宮川委員長から挨拶。

3 議事

(1) 実地調査及び指定管理者へのヒアリング

事務局から実地調査及び指定管理者へのヒアリングの方法について説明。

質疑なし。

(2) モニタリング結果（指定管理者、市、専門家による審査）の報告及び利用者満足度調査結果及び改善策の報告

事務局からモニタリング結果及び利用者満足度調査結果及び改善策を報告した。

(3) 三島市民文化会館管理運営に関する評価

委員が評価をするのにあたり、質疑応答があった。

委員：令和3年度一般会計の予算執行において、修繕料の予算計上がほとんどないが予備費充用で行ったというが、予備費充用とは何か。

事務局：大規模改修工事が終了したばかりであったため、修繕料はほとんど計上していなかった。消防設備の点検などを行った結果、防火扉や防火シャッター等の不具合があり、緊急に修繕が必要となった。予算で想定していなかった支出であるため、市民文化会館費ではなく、市の一般会計の予定外の支出があった場合のために計上する予備費を利用して修繕を行った。

委員：この修繕は、大規模改修工事の中に想定していなかったのか、工事中に劣化が進行したのか。

事務局：予算と工事期間の関係で修繕ができなかった部分と、1年間休館していた間、動かさなかったため、劣化が進んだ部分と両方ある。

委員：休館中にコロナ禍となり、令和2年10月からリニューアルオープンとなったが、利用者数や自主文化事業の参加者数が少なくなっている。自分の団体も事業を悩みながら11月に開催したが、参加者数は減少している。利用率は下がっていないが、参加者が伸び悩むなどの状況にあると思われるが、実際はどのような状況なのか。

指定管理者：利用申し込みはしたものの、全体的にキャンセルが多い状況があった。特に、リモートで研修や会議などを行うことが増えたため、会議室等の利用の落ち込みが大きい。ホールについては、リアルと配信のハイブリッドの利用が増えている。

まん延防止重点措置期間、緊急事態宣言発令期間は、利用者の都合による利用中止でないため、利用料金の還付期限に関わらず、柔軟に還付措置を行ったので、利用の中止が多くなった。

委員：自主文化事業の満足度でベリーグッドマンについては「とても満足」が100%であった。理由は。

指定管理者：通常はファンクラブ以外の観客も多いのだが、この公演は非常に集客に苦戦したこともあり、ファンクラブなどコアなファンが多かったことが原因と考えられる。

委員それぞれが採点表に記入し、取りまとめた結果、全体でA（優良）の評価となった。

4 その他

- (1) 評価結果の取扱いについて、スケジュールを事務局から説明した。
- (2) 委員長から文化会館の運営全般について、その他意見、質問等があるか確認したが、質問等はなかった。